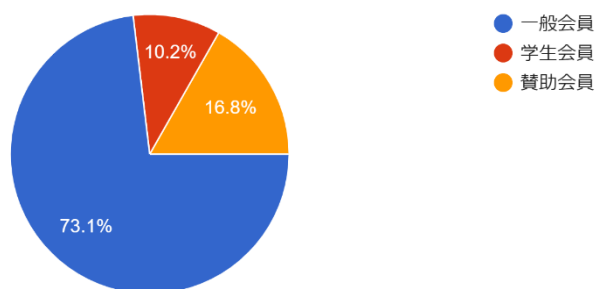


第1回日本抗体学会学術大会 事後アンケート報告

第1回の学術大会に多くのご参加ありがとうございました。事後アンケート（197件の回答）の結果を公表させていただきます。アンケート結果からは、多くの皆様にとって学術大会が有意義であったことが窺われ、主催者として大変うれしく思っております。頂いたご意見をもとに、次回以降の学術大会の在り方についてできる限り改善して行く予定でございます。引き続き 本会へのご理解とご協力のほどお願いいたします。

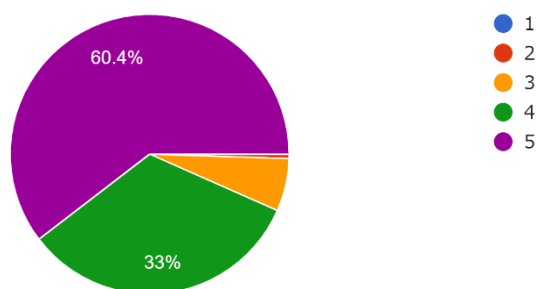
1) 参加登録時の会員の種別をお答えください。

197 件の回答



2) 本学術大会の全体の印象を、1（悪かった）...5（大変よかった）の5段階でお答えください。

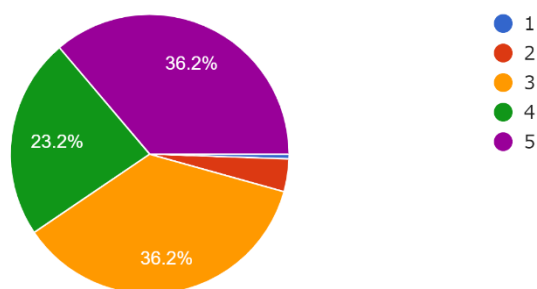
197 件の回答



2) の自由記述欄（クリックすれば飛びます）

3) Webでの参加登録方法に関して、どう思いま...5（大変よかった）の5段階でお答えください。

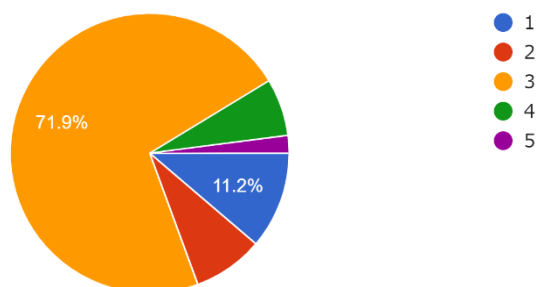
185 件の回答



3) の自由記述欄（クリックすれば飛びます）

4) 参加登録費に関して、どう思いましたか。1...適切)、5(高い)の5段階でお答えください。

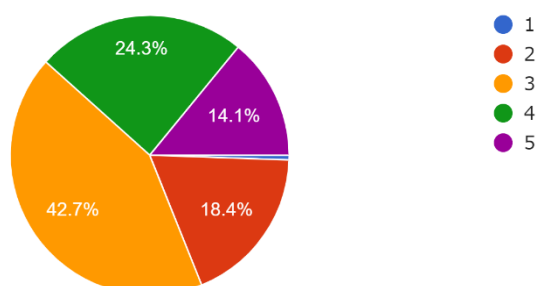
196 件の回答



4) の自由記述欄 (クリックすれば飛びます)

5) 会場に関して、どう思いましたか。1(悪...5(大変よかった)の5段階でお答えください。

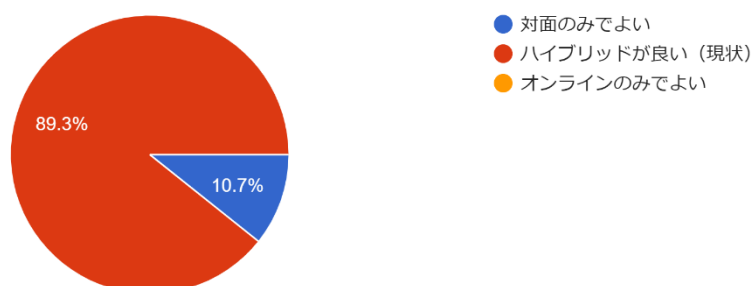
185 件の回答



5) の自由記述欄 (クリックすれば飛びます)

6) 口頭発表に関して、どのように思いますか？以下の3つの選択しからお答えください。。

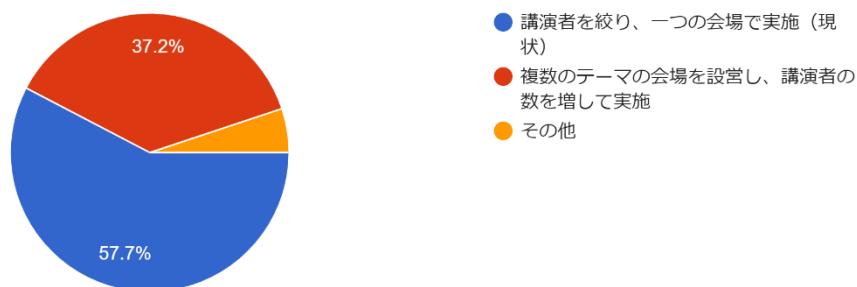
196 件の回答



6) の自由記述欄 (クリックすれば飛びます)

7) 口頭発表に関して、どのように思いますか？以下の3つの選択しからお答えください。。

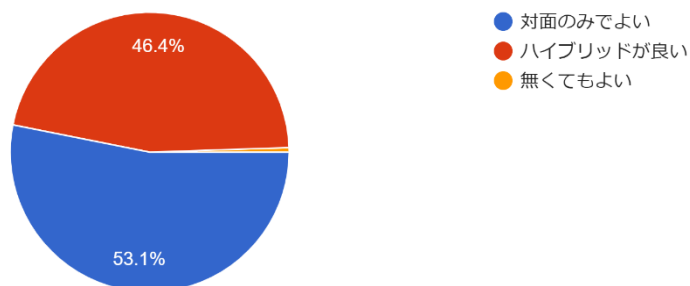
196 件の回答



7) の自由記述欄（クリックすれば飛びます）

8) ポスター発表に関して、以下の3つの選択しからお答えください。

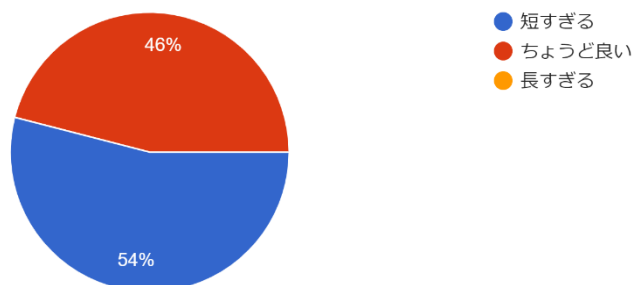
192 件の回答



8) の自由記述欄（クリックすれば飛びます）

9) ポスター発表の時間に関して、以下の3つの選択しからお答えください。

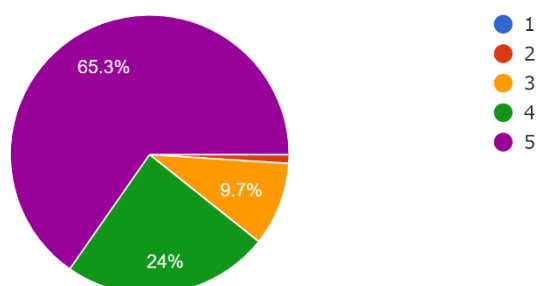
187 件の回答



9) の自由記述欄（クリックすれば飛びます）

1 0) 次回の本学会の学術大会も参加したいと思... 5 (強くそう思う) の5段階でお答えください。

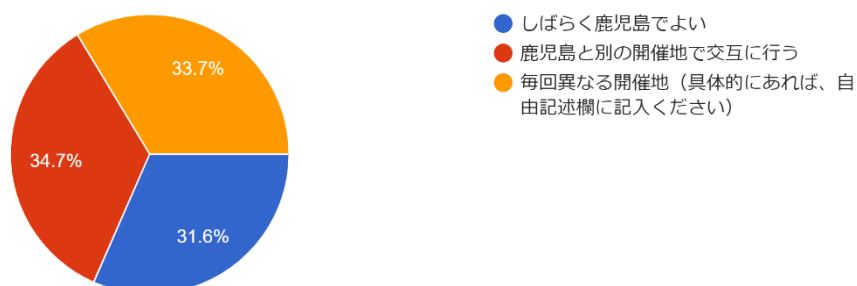
196 件の回答



[1 0\) の自由記述欄 \(クリックすれば飛びます\)](#)

1 1) 次回以降の学術大会の開催地について、どのように思いますか。

190 件の回答



[1 1\) の自由記述欄 \(クリックすれば飛びます\)](#)

[1 2\) その他ご意見がありましたら、ご自由に記述ください \(クリックすれば飛びます\)。](#)

2) の自由記述欄（本学術大会の全体の印象を）

- ・ 大変良かった
- ・ 11 月末というタイミングの良さ(他学会とかぶらない)、また鹿児島という暖かい場所、全体の雰囲気(スタッフの対応、互いに respect する雰囲気、議論を尊ぶ雰囲気)
- ・ オンラインでポスター発表をさせていただきました。ハイブリッド開催の限界を時間しました。
- ・ 日本における抗体開発の全体像をフォローできました。また日本の底力を再認識させて戴きました。日本からグローバルへまだまだチャンスありそうです。
- ・ 抗体について様々な技術的に学ぶことができ非常に良かったです。ただ、講演がかなり詰め込まれていた印象を受けたため、もう少し時間の余裕を持たせてポスター発表を聞く時間を長くしていただければと感じました。
- ・ アカデミアから企業まで、さまざまな視点で「抗体」をキーワードに講演を聞くことができ大変貴重な経験になりました。
- ・ 抗体に特化していて全ての演題が聞いていて面白いと感じました。
- ・ 基盤研究から、製薬会社の応用研究まで知ることが出来て良かった。とても勉強になった。
- ・ 抗体関連の情報を効率的に収集可能。
- ・ ブースへの動線がちょっとかわいそうだったかな、くらいです。
- ・ 産学官から研究者が集まっており、抗体技術の上流から下流まで網羅されている貴重な場だと感じました。
- ・ タンパク質学会などはあるものの、さらに抗体に絞ることで余分なイントロなしに専門性の高い議論ができるなど、本学会があることの意義をしっかりと感じることできた学会でした。
- ・ 集会のサイズ、参加者数、プログラムなど全て適切でした。
- ・ 学会の設立・学術大会の企画・運営と、役員・運営委員の先生方には大変でいらしたと拝察します。抗体に特化した学会で、密度の濃い時間を過ごさせて頂くことが出来ました。口頭発表の時間が通常よりも長く取られていたので、じっくりとお話を伺うことが出来たと思います。
- ・ 本当にためになる興味深い講演が多かったです。
- ・ 抗体パラダイス最高です。
- ・ 第 1 回だったこともあり、大御所の先生方の発表(経験)を拝見でき大変勉強になりました。しばらく抗体の世界から離れており、昔のことは懐かしく、最新の知見には初心者として楽しむことができました。
- ・ オンライン参加させていただきました。他の学会だと事前にどれを聞くか選んで聞かなければならないことが多いと思いますが、殆ど全部の講演をじっくり聞くことができ、大変有意義でした。
- ・ シンポジウム発表の時間が重なっていないため、すべての口頭発表を拝聴することができました。
- ・ 学会講演内容、オンサイト・オンライン運営、会場設定など全て良かった
- ・ 全体的な内容は大変良かったです。①祝賀会が立食の方が良かった、②ポスター会場の密度が高すぎて通路の移動さえ困難であった、点が気になりました。
- ・ 製薬企業の抗体開発がすごかったです。
- ・ 抗体に関して基礎研究的なテーマから臨床まで幅広く聴講できたので色々と勉強になりました。会場が遠くて on site で参加できなかったのが残念でした。
- ・ 「抗体」をキーワードとし、幅広い内容を聴講でき有意義と感じたため。
- ・ 抗体樹立のテクニカルな話、製薬メーカーの取り組みを一度に拝聴できたこと。
- ・ 参加者が多種多様で、様々な業種・専門の方とディスカッションさせていただけてよかった。
- ・ 基礎から臨床応用まで、幅広く

- ・ 産学バランスの取れた講演数、内容がとても良いと感じました。各分野の専門家の皆さまと交流ができた事も参加して良かった点です。
- ・ 全ての公演を聞くことができるスケジュールかつコーヒープレイク時の時間をしっかりとり企業展示やポスターも観ることができるようになっており非常に講演者や企業にも気遣いのある学術大会で大変すばらしかったです。
- ・ 内容は充実しており、大変勉強になりました。充実しているが故に中々タイトなスケジュールであったように感じました。もう少しゆったりとしたスケジュールであれば、先生方にご挨拶させていただける時間も取れたのにと寂しい部分もございます。タイトなスケジュールの中でのご進行ありがとうございました。
- ・ 抗体医薬の分野で、現在こういった研究が盛んで、今後こういった技術が開発され得るのかを広く知ることが出来ました。その点で非常に有意義な2日間でした。
- ・ 新しい知見に触れることができ、刺激になったため。
- ・ 抗体に特化した企業、大学の先生方の話を聞きやすい環境であり、いつも本に掲載されている写真とかでしか見たことない先生と学生でも交流することができたから。
- ・ 熱のある議論が交わされ、大盛況だった。
- ・ 展示会場への来訪を促す企画やイベントがあると助かります。
- ・ 抗体に特化した初めての学会であることはもちろんの事、大学という会場の中で、サテライト会場等も整備されており、非常に有意義であったと感じました。
- ・ 学会のプログラム自体はコンパクトにまとめられて良かった。
- ・ サテライト会場だと現地で聞く意味が薄いように感じた。なるべくメイン会場のみ運営が好ましいように思う。
- ・ 抗体のみにフォーカスした学会の発足自体が素晴らしいのと発表者が豪華だった
- ・ 抗体に関するキーパーソンが集まった素晴らしい回だと思いました。抗体の「製造」に関する製薬企業の取り組みや、「品管」部門での取り組みなども聞いてみたいと思いました。
- ・ 全ての講演が興味深いもので、参加者全員が集中して聴講できる点が良いと思います(パラレルではないため)。ポスターセッションの発表数、時間も適切だったと思います。今回、分析関連の発表が少なかったため、来年以降はもっと増やして分析カテゴリーができるように努力したいです。
- ・ 国内の抗体研究における最前線の研究者から話を聞いたのは良かった。
- ・ web参加ではありますが、第1回大会に対する会場からの熱気が伝わってきました。
- ・ アカデミアの先生方、同業他社の企業情報など、有益な情報をたくさん得られました。
- ・ 抗体に特化された先生方が集う会はなかなかなく、自身の経験に置き換えて状況を把握できるため理解しやすく、非常にモチベーションが上がる会であった。特にポスター発表は、意見交換がしやすく大変良かった。
- ・ 演者ラインナップが凄かった。充実しすぎ。今年がこれでは来年は誰が喋るんだろう？と、心配になった。楽しそうで、現地参加したかった。いわゆる「学術」学会とは一味違う内容で、大変興味深かったです。
- ・ 初めての学術大会でしたが、大きな問題もなく、よかったと考えています。
- ・ 体系的に学ぶ機会をいただけ、有意義でした。
- ・ 講演の内容、濃さ、順番などがよく、2日間で大変たくさんの方のことを勉強できました。一方で、そちらの聴講を優先させたため、ポスターセッションで話を聞くことがほとんどできませんでした。
- ・ 大会運営の関してはよかったと思いました。より広く周知され、今後の発展を期待する意味も込め、4の評価としました。
- ・ 抗体分野に特化した発表を他分野の方から聞く事ができ、非常に充実した2日間であった。
- ・ 大変有意義な学会でした。
- ・ 充実した2日間だった。
- ・ 抗体研究に関して幅広い発表を聞ける大変よい学術大会であった。

- ・ 第1回目として大盛況だったかと思います。日本の抗体関係の Key players が一同に会した感じでよかったです。
- ・ 大学で開催されたため会場の規模、配置に制限があった事を考慮すると満足度は高い学会でした。
- ・ 参加人数、演題共に活気あふれるとても良い学会だったと思います。
- ・ 多くの企業、アカデミアが一同に会し、特定のテーマに対して闊達に議論が行われている環境は久しく見たことがなく非常に良かった
- ・ 学会に参加されている先生方のハイレベルな研究や、抗体研究の画期を肌で感じる事ができて良かった一方、少しスケジュールがタイトで自由度が少なく感じた。
- ・ 会場へのアクセス(バスの本数など)に不便さを感じました。また、新型コロナ感染拡大を御懸念してとのことかと思いますが、祝賀会は立食の方が名刺・情報交換しやすいかと存じます。
- ・ この度は大変有意義な学会を立ち上げていただき、伊東先生はじめ幹事の先生方、厚く御礼申し上げます。
- ・ 発表内容の充実、会場(サテライトを含めて)の準備等が大変良かった。
- ・ 抗体(抗体医薬)間キーワードの元、産学の様々な立場の参加者が集う機会を国内に立ち上げられたことは今後の国内の研究開発推進につながるものと期待できる
- ・ オンライン参加でした。一部のランチョンセミナーにおいては資料共有ではなくカメラ画面でしたが、光の加減やカメラとスクリーン間の距離などにより見え辛かったです。資料共有で統一していただけると良かったと思いました。
- ・ 全体的に大変刺激を受けた大会でした。また参加したいと思います。
- ・ 内容の充実した、大変勉強になる学会でした。ポスターは見学者が多くて時間も短かったため、なかなか時間内に見きれませんでした。会場が多かったので、コーヒースタンドなどで発表者に声をかけたいと思っても、色んな場所に人が散らばっているので見つけられなかった点が少し残念でした。
- ・ 規模的にも全体の発表内容を聞きやすく、参加者皆さんのモチベーションも高いように感じた。
- ・ ハイブリッド開催や会場の使い方など、聞く側としては Zoom や部屋関係なく対応できるよう考えており、聞きやすかったです。
- ・ 大学の先生から企業まで幅広い発表が聴講できて良かったと感じています。
- ・ 抗体にまつわる講演を多角的に聞けたため。
- ・ さまざまアプローチの「抗体研究者」が集う場所となり、とても有意義だった。
- ・ 医薬、診断薬、分析など抗体の様々な用途について学ぶことができ、参加者と交流することができました。
- ・ オンライン同時開催していただき、とてもありがたかったです。
- ・ 講演、ポスターともに大変興味深いものが多く良かった。しかし、ポスターの時間が短くあまり質問して回れなかったのが残念に感じた。
- ・ 直接、研究員の方と話ができた事。
- ・ 紙媒体のプログラムがあると良かったと思う。PC 充電用コンセントが少なかったので、プログラムを確認するのが少し大変だった。
- ・ 抗体という Construct に特化し、とはいえそこから派生する様々な分野の情報をまとめて得ることができた。
- ・ 創薬に生きる演題が多くあり、勉強になりました。一方で私が CMC 研究従事者ということもあり、抗体原薬の製造プロセスや、製剤のトピックもあると、参加者の間口も広がるのではないかと感じました。
- ・ これまでなかった抗体学会を立ち上げ、学術集会を開催してくださり誠にありがとうございました。抗体関連研究についての最新情報をまとめて得ることが出来、非常に有益でした。
- ・ 大学と普段あまり聞けない製薬企業の話聞いて大変勉強になりました。
- ・ 最先端の研究だけでなく、概論的な講演が多く、私のような初学者にはとても勉強になった。
- ・ 今まで分野外での活動が主であったため、大変勉強になった。
- ・ 非常に活気のある学会でした。ありがとうございました。

- ・ 大変勉強になる学会でした。また、抗体と分野を絞っているにも関わらず、こんなにもたくさんの研究があることに驚きました。特に、講演はどれも面白いものばかりで 30 分があつという間でした。ポスター発表はもう少し学生がいたら面白かったのになと感じてしまいました。
- ・ 第一回としては、素晴らしい運営体制でした。
- ・ 初回開催+オンライン対面のハイブリットにも関わらず滞りのない学会運営であると感じました。
- ・ 第一回目とは思えないほど、円滑な進行だと感じました。

[元のグラフに戻る](#)

3) の自由記述欄 (Web での参加登録方法に関して)

- ・ 画面が揺れてしまう公演があり。また URL は統一出来ないでしょうか。
- ・ 入金確認や会員登録をスムーズにできればと思いました。
- ・ 非常にスムーズだった。研究もされながら、事務局運営もスムーズにされていて頭が下がる思いであった。
- ・ 入金方法としてクレジットカード決済を可能にしてほしい
- ・ 便利ですし、全く不都合はありませんでした。
- ・ 学術集会のトップページを見ますと、「事前登録の締め切りが 11 月 16 日までで、参加登録は継続中」と読めます。参加登録していない方は、プログラムではなくて学術集会のページで確認されますので、当日受付を行わない旨、記載があれば良かったと思います。
- ・ 簡便さは素晴らしかったのですが、別表記の操作のフローを見 tw 確認しながらでしたので、クリックしながら入力できればと思いました。
- ・ 参加登録の締め切りが早すぎず、大変助かりました。
- ・ 締め切り後の申し込みにもかかわらずご対応いただきありがとうございました。
- ・ 銀行振り込みだけでなく、クレジットカードでも支払いできるようにしていただけると幸いです。
- ・ web からは参加せず
- ・ レスポンスが遅い場合が多かったので、参加登録できているのか心配でした。
- ・ ポスター発表に関して、閲覧が中心となってしまう、発表が聴講できなかったのが残念だったため。(Ovice の使い方が原因でしたら申し訳ありません)
- ・ 口頭発表については問題なかったが、ポスターを見れなかった。閲覧法があるなら記載いただきたいし、もともと発表者と直接やり取りが必要であれば明記していただきたい。
- ・ 振込限定ではなくクレジットカード決済も可能になるとありがたい。また直前に参加を決めたためもう少し受付期間が長いとありがたい。
- ・ Web にて丁寧なフロー図等もあり、参加登録は滞りなく実施できました。
- ・ わかりやすく、かつ事前に要旨集をダウンロードできよかった。
- ・ 現地で参加致しました。
- ・ スムーズに登録が進んだため。
- ・ Web 参加でも現地と同様のクオリティで見ることができていたため
- ・ メールを介さず、全行程を web で登録できるタイプの方が良いと思いました。
- ・ 参加登録が分かりにくかった
- ・ ちょっと複雑。また、問い合わせの電話をすると伊東先生が対応されるので、恐縮してしまし。問い合わせが遅れてしまった。ぜひ、別のスタッフさんに電話対応をおねがいしたい。

- ・ 参加費の振込方法に柔軟性があればなお良いと考えます。
- ・ 特に問題ありませんでした。
- ・ ランチョンセミナーが web から拝聴することができませんでした。
- ・ クレジットカード決済ができると、よかったです。
- ・ 特に不便を感じることはなかった。
- ・ 伊東先生の個人メールアドレスで来るのと office のメールアドレスから来るのが混在していて、メーカーでの分類が若干困った。伊東先生が働きすぎではないか、と心配になった。
- ・ 参加費領収書の宛先を会社名も選択できるようにして頂けたらありがたいです。
- ・ 特にトラブルなく登録できた印象です。
- ・ 登録に関して事務局とのメールのやりとりが複数回発生したので、ご迷惑をおかけしていないか心配でした。
- ・ WEB 登録は簡便でよかったが、会員番号発行から参加登録までにラグがあり不便さを感じた。
- ・ 回線が時々悪い。
- ・ oVice によりオンラインでもポスターを見ることができ非常に良かった。
- ・ スムーズに登録でき特に問題は感じませんでした。
- ・ 会社にいるだけで登録でき、大変ありがたかったです。
- ・ 返信を待たないといけないなど、少しタイムラグ等があるのが面倒でした。
- ・ 最初はエントリーの仕方が分からず、戸惑いましたが、
- ・ 登録し易かった。
- ・ 元々出展者 3 名迄可能となっていたのに、途中から会費 1 万円かつ登録必要ということに変更となり、WEB 登録方法についての案内もなかったため。
- ・ 非常に簡便に登録ができ、レスポンスも早く良かったと感じています。
- ・ 入力確認欄がないため、正しく送信されたかわかりにくいと感じたため。
- ・ 会員登録後、参加申し込みリンク先の案内が届きませんでした。その他は、簡便にできましたので良かったです。
- ・ 現場に行かなくても聴講できるのは大変良いと思う。
- ・ 別段、手までも無く履歴も残るのでありがたいです。
- ・ 特に不明な点もなく登録することができた。
- ・ oVice でポスター会場に入ってみたのですが、資料がブロックされて表示できない状態でした。(McAfee でのブロックだったのかもしれませんが。) 事前にシミュレーション(接続のトライアル?)ができれば、Web での参加にハードルがないかなとは思いました。
- ・ スムーズな登録を頂き、ありがとうございました。
- ・ まだ設立間もないため今後の検討になるかとは思いますが、1つ1つの登録に際して、事務局からの返答を待つ(送る)のは手間になるので、システム化できたほうが良いかと思います。
- ・ 音声状況が悪い部分があり、少し気になりました。
- ・ 簡単に参加登録できて良かったです。メールでのやり取りではなく、Web での提出だったらもっとわかりやすかったと感じました。
- ・ 特に問題を感じませんでした。
- ・ web では参加していない
- ・ 簡便で分かりやすかったです。

[元のグラフに戻る](#)

4) の自由記述欄（参加登録費に関して）

- ・ お得感あります。
- ・ 学生価格の設定が大変ありがたかったです。
- ・ 登録費も手が届きやすい値段で幅広い層の研究者の方が参加出来ると思うので良いと思った。
- ・ ありえない安さ。
- ・ シンポジウムの内容も濃く、適切な価格だったと思います。
- ・ もう少し高くし、学生の参加費を下げることも可能かと思います
- ・ 払って聴講する価値があると思ったので参加いたしました。
- ・ 学会学会の内容に対しては安価に思える感覚だが、第一回開催に対する情報収集としては気軽に参加できる金額。
- ・ 運用に要する経費を考えると、妥当と思われるため。
- ・ 学生にも優しい価格だったから
- ・ メールを介さず、全行程を web で登録できるタイプの方が良いと思いました。
- ・ 学生であったこともあり、2000 円と大変良心的な値段で参加させていただいた。
- ・ 若い世代につなげる学会のコンセプトのもと、学生の会費が非常に安価であるのは賛同できます。一般会員も適切と感じました。
- ・ 支払い方法が振込だったため、経費で支払う場合の手数料の扱いが複雑になってしまった。
- ・ 大会の質と照らすと安いと感じました。もう少し高くても、参加される方は減らないと思います。
- ・ 適切かと思います。
- ・ 問題なし。
- ・ 安価な設定であったため、部署内の希望者全員を参加させることができました。今年度は 1 回目であり予算を確保していなかったため、この設定で助かりましたが、次年度以降は予算を申請するので、高く設定していただいても問題ありません。
- ・ 企業へはもう少し値上げも可能かと思いました。
- ・ 学会の内容を考慮するとかなり安い(お得)と思います。個人的には 1 万円～2 万円の間で設定されると納得感があるように思います。
- ・ 海外の学会よりは安いですが、やはり、通常の学会より高いと思います。5 千円ぐらいが適当だと思います。
- ・ 適当な価格設定と思いました。
- ・ 参加費は高いものの、年会費がないため、全体として問題はないと思います。
- ・ オンラインのみの場合は少し安くなるなどしていただけるとありがたいです。
- ・ 一般的な学会参加費だと思うから。
- ・ 同規模の学会と比較したことがなく、高額とも感じなかったため、今回は適切と回答しました。
- ・ 学生の方が安価なのは良い事だと思う。
- ・ 学生会員として他学会と変わらない費用だったので、普通かなと感じた。
- ・ 一般的な費用かと感じました。
- ・ 他の学会の参加費を例にみても、おおむね妥当な金額ではあるかとは思いますが、オンライン参加については、参加証が発行されないなどの観点からも多少金額を安く設定いただきたいと思います。
- ・ 学会の年会費がなかった分、適切だったように思います。企業としては、年会費は自己負担で、学会参加費は経費となるという事情もあり、この形式は非常にありがたく感じています。
- ・ 学生会員費が安いのは良いことだと思います。
- ・ 値段も安価で、適切だと感じました。

- ・ 適切ではないでしょうか。
- ・ 学生でも負担しやすく積極的に参加したくなった

[元のグラフに戻る](#)

5) の自由記述欄（会場に関して）

- ・ ポスター会場が少し狭かった。会場間の距離があり入り組んでいたため移動がわかりにくかった。
- ・ ウェブ参加です。
- ・ 様々な場所に試聴する会場があり、移動を少なくして見れたのが良かったです。
- ・ 人の流れに即した企業展示の位置が望ましいという意見をもらいました。（ポスター発表の隣等）
- ・ オンライン参加でした。
- ・ PC 使用のため電源を強く希望。
- ・ 今のように口頭発表がシンポジウムだけなら、大きな 1 会場が望ましいと思います。ただ、思ったよりも各会場の距離が近かったので、一体感がありました。
- ・ 座席数が少ないように感じた
- ・ 演者の脇から入る設計のそこ（メイン B）はやや入りづらさがありました。
- ・ なるべく一つの建物の中が望ましい
- ・ ポスター発表の場所がすし詰め状態で、CoV2 感染が心配でした。
- ・ 密を避けるためと理解していますが、各メイン会場が狭かったように感じました。
- ・ 企業展示スペースが小さい
- ・ ポスター発表会場のスペースにもう少し余裕があると嬉しかったです。
- ・ オンライン参加でしたが、画面に会場側を映し出されることもあり、なんとなく雰囲気分かって良かったです。
- ・ ランチョンセミナーのオンライン視聴では、カメラが細かく揺れていて少し気分が悪くなりました。
- ・ 参加人数に対し会場がせまかったのが残念です。また、メイン会場のスピーカーが悪く B 会場の音が聞き取りにくい時がありました。サテライト会場の方が音声良かったです。
- ・ サテライトの設営が良かった。ただ、事前および当日に、より明確に説明しておいたほうが、混乱が少なかった（特に A 会場が、常時満席となっていたため）
- ・ オーラル発表は良かったです。ポスター会場はより広いと良いです。
- ・ コロナ禍と大学での開催だったので難しかったと思うのですが折角対面での学会だったので会場を分けずに開催して欲しかった。
- ・ ポスター会場が少し手狭に感じました。
- ・ ポスター会場の部屋をもう少し広く取ってもよかった。企業ブースが隅にあったのもう少しメインに近くてもよかった。
- ・ 市街地からやや遠かった
- ・ 会場 B の出入り口が、講演者の横でした。講演途上の出入りが少し気になりました。
- ・ 先生方の講演の中でもポスター発表をご紹介されておりましたので、講演会場とポスター会場が同じ建物であれば、ポスター会場により立ち寄り易かったようにも思います。
- ・ 綺麗な建物で感動しました。ただ、ポスター発表の会場など、非常に密になっていたのもう少しスペースがあるよりよいと感じました。
- ・ 会場がコンパクトにまとまっており、移動が楽だったため。

- ・ 会場間に少し距離を感じました
- ・ 収容人数の大きいメイン会場1つが良かった印象でした。
- ・ 1つの建物に出来れば集約して欲しかった。サテライトで聞いていましたが、回線不良で聞けない時間帯があったのが残念。座席の座り方が統一出来ていなく、◎の位置に座っていない人もいて、邪魔だった。
- ・ 自分は気にならなかったが、室温が不服そうな人がいた。
- ・ オンライン参加のため、オンサイトの状況はわかりません。
- ・ 会場が大学という中で非常に設備も充実しており、良かったと思います。スタッフの方々も教育されており、親切な対応をいただきました。ありがとうございます。
- ・ 複数の会場が離れていたり、講演会場間やポスター会場間の導線上に展示会場がなかったのも、展示会自体の効果は高かったとは言えなかった。
- ・ コロナ禍でもあり対応が難しいかと思いますが、広い会場(全員が一堂に会せる)、すぐ近くのサテライト会場がよいかと思いました。
- ・ ポスター発表の部屋が少し狭いかと思いました。
- ・ メイン会場11と2のオンライン連携も問題なく、サイズも程良いと思いました。
- ・ メイン会場が離れていることと会場が狭かったように感じた。
- ・ 参加費が高くなっていいので、ホテルや展示場開催にしてほしい。
- ・ 各会場もそれほど離れておらず、よかった。また中心街からも近く利便性は高かった。雨でぬれてしまう点と、鹿児島が空港から遠かったため、3点です。
- ・ 演者発表会場やポスター会場はもう少し広い方がよい。また演者発表2の会場は途中での出入りが難しく、後ろから出入りできる会場であればよかった。
- ・ 現地参加してないので、不明です。選択肢がなかったので、3にしました。
- ・ メイン会場Bで参加しました。入口が2つありましたがそのうち1つは入ってすぐに機材が置いてあったので入口としては好ましくなかったと思いますがそこから入ろうとする方が結構いらっしゃって気になりました。B会場看板がその入り口の近くにあったためと思われます。もう一つの入口に「B会場入口」の紙を貼る等の対策があればよかったと思いました。
- ・ 同時中継は良いと思いますが、会場キャパシティは小さいと感じました。
- ・ ポスター会場が少し狭く密だったように思います。
- ・ 会場AとBのバランス、連携が少し悪いと感じました。
- ・ ポスター会場がもう少し広ければ良いなと思います。
- ・ 人数に比して会場が小さく、また場所が分かれていたのは、改善があるとよいかと感じました。
- ・ もう少しコンパクトになると良かった
- ・ 会場間の移動がすこし面倒だった。
- ・ PCの充電場所がなく、途中で切れてしまったりと不便だった。会場内寒かった。
- ・ 今後、企業色とアカデミア色という、レベルや色が大きく異なる発表をどうしていくかによって会場を選択していくことになるのだと思います。今回でも、地図では離れているかと思いますが、実際は距離も近く特に不自由なく回ることができました。
- ・ メイン会場Aは音声、スクリーンサイズとも良かったと思います。・サテライト会場Aはスクリーンは大きかったのですが投影サイズが少し小さいように感じました。補助のモニターが複数個所に設置されていましたが、これも投影サイズが小さいので少し距離があると見にくい印象でした。・ポスター会場は狭いように感じました。もう1部屋追加した方が良かったように思います。・展示会場は場所としては良いのですが、奥の方の展示企業さんは気の毒でした。展示ブースの対面に置かれていた机を一部撤去し、空いた場所をドリンクコーナーとすることも可能ではないかと思いました。・会場全体としては大学ではなく、ホテルやイベント会場の

方が費用は嵩みますが運営が容易では無いかと思います。費用とのトレードオフかもしれませんが、一般の参加登録費を上げることも1案かと思います。

- ・ リモート参加のため、会場の様子がわかりません。
- ・ 展示ブースに関してはポスター会場と近づけるなど、企業側としてはもう少し人通りをよくしていただければと思いました。特に2日目はほぼ人がおらずどのブースも少し困っているように感じました。
- ・ 大学ですので、致し方ない部分があるかと思いますが、企業展示者という立場からすると、会場が狭く、また、ドリンクコーナーより奥の小間には、人の流れも少なく、あまり集客を得ることができなかったため、少し改善をして頂けると有難く存じます。
- ・ メイン A と B で交互に発表という形式は、発表者の入れかわりがスムーズになる点は良かったと思う。一方で、サテライト会場にいとせつかくオンサイトで行う学会の意味が感じられない。また、ほとんどの会場の出入り口が前方だったため、発表中の出入りに気を遣う。ポスター会場ももっと広い方がよかった。
- ・ 各会場が離れているので、例えばコーヒースタンドにポスターや企業展示を見たいと思っても、困難だった。また、会場の仕様で部屋の前方にしか扉が無く、自由な入退室がし辛いと感じた。そういった点が合わさり、口頭発表ばかり聞くことになり、自由度が低いと感じた。サテライトに使っていた会場をメインにした方が良かったと思った。
- ・ 各企業の展示・ブースは、何度も周回できるような場所の方が適しているかと思いますが、また、ポスター発表の場所と同部屋か導線が確保しやすい繋がった場所の方がいいと感じました。
- ・ 混雑の違いでメイン会場を移動することが何度かあり、会場同士が近いと更に良かったです。会場同士の Zoom 連結は非常にスムーズで、別会場で行われていることを全く意識せずに拝聴できました。広い大講堂よりも今回の規模の方が集中して意識を傾けられるように思います。
- ・ 想定外の人数が集まったというところだと思いますが、手狭だったとは思いますが。
- ・ 初日の午前中が雨だったこともあり、建物間の移動が不便でした。可能であればもう少しコンパクトな会場配置が望ましいと思いました。講演会場 B の出入り口が前方(演者側)にあったため、途中からの入室に躊躇しました。後方に出入り口がある講演会場だと気兼ねなく出入りできるかと思いました。
- ・ 個人的には A 会場と B 会場の移動時間(休憩時間)として 5-10 分あればと思いました。
- ・ メイン B が前面からしか入室出来なく途中からの入室に戸惑ったが、その他は大変良かったと思います。
- ・ メイン会場 A がもう少し広ければと感じました。
- ・ 鹿児島に移動するのが大変でした。
- ・ 2)に記載の通り、会場がまとまっていたほうがよかった。
- ・ 参加者皆さんで意見の違いはあるかと思いますが、1日目は会場が暑く、2日目は寒かったです。また、会場間のアクセスがやや遠かったですが、サテライト会場を中継するのでその点は問題無かったかと思いますが。事前に資料を読み込んでいなかった落ち度はありますが、サテライト会場で全ての発表を聞ける認識がありませんでした。
- ・ オンライン接続されているとはいえ、口演海上同士が少々離れすぎている感じがいたしました。
- ・ サテライト会場 A のスクリーンに映し出される映像が小さく感じられたので、可能であれば、サテライトもメイン会場ぐらいの大きさで観ることができると嬉しいです。
- ・ もう少し集約されていればよかったかもしれないです
- ・ オンライン参加のため、3(普通)とさせていただきます。
- ・ ポスターの一部が、オンライン会場に掲載されていなかった。
- ・ サテライト会場の設営は良かったと思います。
- ・ 現地参加では、講演後に演者に個別に質問したい場合もあり、演者と同じ部屋で講演を聴けることが望ましいと思いました。
- ・ 会場が分かれていたことが少し不便に感じた。

- ・ 会場 A と B の距離が遠かったから
- ・ ポスター発表の際、来場者であふれていたことから、もう少し広い会場での実施の方がよいと感じました。またこれは弊社の PC のバッテリーの都合であり恐縮なのですが、充電しながら聴講できる会場を準備いただけるとよりありがたいと思っています。
- ・ オンライン参加のため回答を保留させていただきました。
- ・ ポスター会場はもっと広くても良いと感じました。
- ・ 遠方からきている方が多いと思うので、空港から結構遠いのは少し不便だと感じた。
- ・ 企業ブースへのアクセスが良くなかった。またブース閲覧の時間が少なかった。
- ・ PC を使う参加者にとって、電源の用意が少なかったように思います。メイン A の音響が聞き取りづらかったので、なるべくそれ以外の会場に参加するようにしていました。
- ・ メイン会場はすぐに埋まってしまうほどのキャパシティだったと思いますが、サテライト会場もあったため聴講しやすかったです。鹿児島大学の内装がきれいで感心しました。一方で、PC 持参でメモをとる参加者も多かったと存じます。充電場所やフリーWi-Fi があるとさらに便利だったかと感じました。または、もしご準備をいただいていたようでしたら、アナウンスを頂けるとありがたかったです。
- ・ オンライン参加であったため、不明です。
- ・ 会場が複数あって、聞きやすかったです。サテライト会場にいたことが多かったですが、特に問題もなく、しっかり聞けました。
- ・ 想定より非常に多くの対面参加者がおられたため、直接講演を聞けずにサテライト会場モニター越しに聞くことが多くなってしまった
- ・ ポスター会場が狭すぎると感じました。企業ブースがポスター会場から離れているため、来場者が少なく感じました。
- ・ ポスター会場は密になりすぎて少し心配でした。もう少し広い会場か、一つの会場あたりの人数を減らして欲しかったです。
- ・ 仕方がないことだが、会場が離れており、移動が大変だった メイン会場の収容人数を増やしてほしい ドリンクコーナーはとても良かった
- ・ 会場がそれぞれ離れていることもあり、一部の会場に人が偏っていたように思います。
- ・ もう少しゆとりのある座席だと良かった
- ・ 口頭発表をどこの会場でも聴講できることを知らなかった。2 日目にサテライトBで聴講中、途中で zoom の接続が切れて部分的に講演を聞けなかった。
- ・ 各会場が隣接している方が聴講はしやすかったと感じました。
- ・ 仕方ないところだとは思いますが、より多くの人が入る会場が一つあると良いと感じました。

[元のグラフに戻る](#)

6) の自由記述欄（口頭発表に関して、対面、ハイブリッド、オンライン）

- ・ オーラルの場合、ハイブリッドは有効かと思いますが、ポスターは、対面のみとすべきかと思います。
- ・ ハイブリットしておく、オンサイトに参加していても自身のタブレットや PC で発表画面を見ることができ、スライドをはっきり見ることができる
- ・ スライドなどが後部では見にくい、ハイブリッドであれば手元でスライドを見ながら聴けるため

- ・（複数テーマを設置した開催では）テーマの規模によって、会場間中継（現状）という選択肢もあるのかなと感じました。
- ・ 別会場でも聴講出来たのはよかったです
- ・ ハイブリッドなら、海外の方にシンポジウム講演を依頼するようなこともできるのではないのでしょうか。
- ・ コロナもありますし、無理に現場で参加しなくても済む方法は有用だと思います。
- ・ 会場外向けでは無く、他の会場で視聴するためのオンラインは良いかと思います。
- ・ 音声のテストを事前にしておく良かったと思います。
- ・ オンライン参加でしたが、サブ会場からの質問時に毎回別の音声混ざっており聞きにくかったです。
- ・ 今回、オンラインが無ければ参加できなかったのも、なるべくハイブリッドでの開催を期待します。
- ・ 来年は現地参加をしたいと思います。仕事のため現地参加が難しい方もいらっしゃると思いますので、できればハイブリッドにさせていただいた方がよいと思います。
- ・ このようなハイブリッドが今後も常態化すると思います
- ・ on site と on line のどちらにもメリット・デメリットがあるのでハイブリッドを継続して欲しいです。
- ・ 今後日本全国で開催されることを考えると、オンラインがあることで幅広い参加者を募れる（門戸を広げられる）ことは大きなメリットであると感じた。
- ・ 直前にオンサイト参加を検討したが宿泊施設が高騰していた。感染状況次第ではオンサイトからオンラインに切り替えるケースを考えるとオンサイト/ラインどちらでも参加できる方がよい。
- ・ 急遽会場参加ができなくなったことから、ハイブリット開催にいただき大変助かりました。若手という立場もあり会場では質問しづらかったと思うので、チャットで質問しやすかったのも良かったです。
- ・ 他の会場からも口頭発表を聞けるのは斬新でよかった。
- ・ 直接先生方の熱量を感じられる対面が好みではございますが、オンライン参加という選択肢があるというのは有意義かと思います。
- ・ 対面で参加できなくても、拝聴が可能なため。
- ・ オンライン音声も聞き取りやすかったです
- ・ きっと企業側からするとハイブリッドの要望があると思うが、結局、対面が一番なので、アカデミアがメインの学術大会とするのであれば、有名演者と同じ場にいるなど、教育の観点から対面のみが良いと思います。
- ・ 開催地でオンライン参加できる場所を作る（フリースペースの部屋を増やす）と良いと思いました。会場のモニターでは画面が小さく見えないところが多くあり、実際会場にしながら、個人のスマホや PC で聴講している方が何人もいたかと思います。
- ・ 大会場であればあるほど、ハイブリッドが良いと思います。スライドをモバイルで見ながら 会場で聴講することも可能なため。
- ・ やはり、対面。少なくとも講演者は対面でのご講演をお願いしたい。
- ・ ハイブリッドであることで、会場間の移動時間を考慮せずに時間を最大限有効活用できました。ハイブリッドでの実施はたいへんだと思いますが、前向きにご検討いただけますと幸いです。
- ・ 現地のサテライト会場も便利だと感じました。
- ・ 基本は対面が良いと思いますが、展示している企業にとってはオンラインでも講演聞けるのは大変ありがたいです。
- ・ 対面参加ですと、会社からは代表者を派遣することになりますが、web であれば複数名の参加が可能です。やはり直接講演を伺いたいのでハイブリッドを希望します。
- ・ 現状で問題ない。
- ・ 本当は対面が良いのでしょうけど、それだと参加できなかったのも、、、

- ・ オンラインだと日常業務の片手間に聴講する羽目になりがちなので現地参加することが望ましく、現状のハイブリッドが良いです。
- ・ 現地参加でもスライドが見やすいなどのハイブリッドのメリットを感じました
- ・ オンラインも選択できると、スケジュールが合わない場合でも参加できるので助かります。
- ・ 学会後のアーカイブ配信をお願いします。(配信 ok の先生のみで構いません。)
- ・ スライドの細かい部分は zoom の方が見やすかったため。
- ・ 本年は対面参加が可能であったが、来年以降はわからない。オンラインでも参加可能なハイブリッド形式を続けていってほしい。
- ・ 対面優先でハイブリッドも入れていくのがよいかと思います。その分、守秘的な内容を出さなくなるので、対面 Only のセッションもあってもよいかもしれません。
- ・ 今回は会場が 2 か所でしたのでハイブリッド形式で良かったと思います。
- ・ 鹿児島にも伺いたいところですが、やはり遠方のため、オンラインを残していただけると大変ありがたいです。
- ・ コロナの状況次第ではハイブリッドでも良いが、オンサイトで学会をやるのであれば、可能な限り対面が良い。
- ・ オンラインで参加されたの人数にも依るかと思われます。
- ・ コロナの現状もあるので仕方ないと思いますが、現地の熱気を感じずにリモートのみで終わってしまうのはもったいないです。
- ・ コロナ禍ということもあり、コーヒー飲み部屋で PC で Zoom 視聴することが多かったです。物理的な移動も考えなくて良いので、荷物が多い場合には、リモート視聴は助かります(特に最終日)。講演会場の投影映像よりも、PC 画面の方が鮮明にスライドが見えた様な気がします。PC でのリモート視聴できる会議室など専用スペースがあると良いと思います。
- ・ メイン会場を最も大きな会場(例えばランチョン会場)に出来なかったのでしょうか。
- ・ コロナ禍の状況によると思いますので、ハイブリッドで良いです。
- ・ 出張が難しくても発表を聴講できるため、ハイブリッドを希望します。
- ・ 開催当日の参加者の業務都合等により、どちらも選択できるのはありがたいです。
- ・ 急遽これなくなった場合などにも対応できるため。
- ・ 大変かとは思いますが、是非とも引き続きハイブリッド形式で開催いただければと存じます。
- ・ 学会の今後はハイブリッドが主流になると思います。
- ・ 席によってはスライドが見えにくい場合や文字が細かい場合もあったので、対面でありながらも手元で Web 上でも確認できると有難いと思う。
- ・ オンサイト会場間のオンラインは良いと思ったが、遠隔地からのオンラインは発表者のみで良いと思った。
- ・ リアルタイムで全国各地から参加できるのは予定も立てやすくありがたい。
- ・ ハイブリッドでやることで、演者間の切り替えがスムーズだったように思います。演題が多い場合は、ランチョンセミナーのように、並行して 2 会場で別々の演題をやることでもよいとは思いました。
- ・ 口頭発表の際に、会場で音声小さい場合や、発表スライドが見えにくい場合、ハイブリッドであれば手元で確認できるので可能であればこのまま運営していただけますと幸いです。
- ・ ハイブリッドは非常に良かったです。
- ・ 会場に入れなくても、別会場で聞いたのが大変ありがたかった。
- ・ 今後の感染状況によるところかと思いますが、現地に行く日程的余裕がない方にとってはオンラインとの併用も選択肢になって良いのではないかと思います。
- ・ 参加する側からは「ハイブリッドが有難い」と感じました。ただ、ハイブリッドは準備・運営が大変だと思いますので、回答は「対面のみで良い」と致しました。
- ・ 会場のスクリーンが見えづらいときや、移動中にも講演を聞くことができてよかったです。

- ・ やはり対面でお話を聞く方が発表者の雰囲気も伝わり理解が進みやすい
- ・ 鹿児島だと対面で行くことができない可能性もあるので、今回のようなハイブリットで良いと思いました。
- ・ 会場が大変盛況であったことも鑑み、ハイブリットが望ましいと思います。

[元のグラフに戻る](#)

7) の自由記述欄（口頭発表に関して、1つの開場、複数会場？）

- ・ 自分が関心ある分野についてより多くの知識をつけたいと感じたため、自分で聞くものを選べれば良いなと感じたから
- ・ 招待講演を減らして、一般口頭発表を追加して欲しい。
- ・ 学生や若手研究者にも口頭発表の機会を与えていただけたら嬉しいです。シンポジウム公演数題(メイン会場+子会場中継)+テーマ毎の口頭発表会場という感じではどうでしょうか
- ・ 今回は大御所のみで口頭発表は埋まってしまいましたが、若手の育成のためにも他の口頭発表があってもいいように感じました。
- ・ 今回のスタイルは、1件当りの時間が長くとられていたので、普段は馴染みのない内容であっても、理解しやすく、良いスタイルだと思いました。しかし、件数はかなり絞られてしまうので、演者の数を増やした状態での開催と、今回の様な形式を、年によって使い分けると良いのではないかと思います。
- ・ 日本を代表する抗体研究を公開・把握するためには、シンポジウムのような現在の方法で十分かもしれませんが、抗体研究を多様化させ、より盛り上げるためには、萌芽的な研究も含めて議論できる場(ポスター発表以外)があるといいと思いました。
- ・ 今しばらくは学会の共通の知識共有化が望ましい気がします
- ・ 今回のような発表形式の方が、聞き漏らしがなくてよかったです。
- ・ 集中できるので1会場の方がよいと思います。ただし、会場の収容人数は多くしていただきたいです。
- ・ 今回の2会場パターンがスムーズでよかったように思います。
- ・ 今年のシンポジウムに加え、一般募集の口頭発表を今後付属してもよいかと思いました。
- ・ 複数テーマ同時進行では、参加者は増えますが、聴講できない場面が生じるので好ましいとは言えないと思います
- ・ 複数会場があると、聞きたいテーマを逃してしまうかもしれない。
- ・ 現状ではオンサイト参加者を別部屋に分散させる方が良い。質疑応答については会場/別室で機会の差が内容配慮が必要と思えます。
- ・ 今回の形式で、特に不便は感じなかったため。
- ・ 各講演者の研究テーマを、様々な立場の人物が聴講できる貴重な機会だと感じたためです
- ・ 本当は、抗体に関する様々な研究テーマを取り扱って欲しいが、少なくとも、本学術大会が熟れるまでの数年は、1つの会場で頑張った方が良いと思う。
- ・ 分野を分けて複数会場で実施する方が、良いと思う。
- ・ もう少し演題が少なくても良いかと思いました。
- ・ 抗体医薬の工業化研究(CMC)に関わるものが多いと嬉しいです。
- ・ 今回の講演者の方は贅沢なほど豪華でした。官民がバランス良く発表されておられたと思います。
- ・ 講演演題数によるかと。

- ・ 複数のテーマの会場を設営する場合は、質問 6 にあったハイブリッド化がマストであるようにも思います。一つでも多くの講演を聞きたいです。
- ・ ただし、発表と発表の間は移動時間を設けた方がいいと思います。
- ・ パラレルにすると、聴講できない講演がでてくるので当面は1会場での進行が良いと思います。
- ・ 現状に不満が無かったので選択しましたが、今後学会が発展に伴いテーマ数も講演者数が増えていくので2番目になるだろうと思います。その際は、学会終了後のオンデマンド配信をご検討いただけるとありがたいです。
- ・ 分野ごとに会場を分け、講演者数を増やすか、発表時間を延ばしてほしい。各人で興味のある分野が異なるので、講義形式で全員が同じ発表を聞く必要はない。
- ・ 分野が特化されたことで、複数講演だと聴講したい演題がかぶる可能性が高い。規模が大きくなれば、同時刻に複数演題は仕方ないと思うが、できる限り現在の状況で進めていただきたい。
- ・ 迷わず全部聞ける安心感と満足感。
- ・ できるだけ網羅的に聴講したいので現状のスタイルが良いです。
- ・ 多岐にわたるテーマを聞けるのでよかったです。一方で募集枠もあったほうがテーマに広がりが出るかと期待しています。
- ・ 学会後のアーカイブ配信をお願いします。アーカイブ配信があれば、複数の会場でも構いません。
- ・ 今回の方式はどの会場でも同じ講演を見ることができてよかったと思いますが、講演者数は絞らざるを得ないのは残念なところで、悩ましい点かと思います。会場の建物が分かれていなければ、規模の大きな学会のように複数会場設営することも可能なのかと思いました。
- ・ 今回、絞った発表で網羅的に聞けたが、さらに多くの発表を聞きたいと思った。
- ・ 本年の形式は全ての発表が聞けとても良かったが、来年以降もう1トラック増やし2トラックでも
- ・ 今回は1回目なので、これまでの歴史を振り返るなどがありましたが、今後は Update を発表するとなると、そこまで多くの Oral クラスの発表はないかと思います。
- ・ テーマごとに会場と時間帯を分けて実施できると良いように思います。全体会議とテーマごとの会議を2会場程度で運営できると良いのではないのでしょうか。会場数が増えすぎるのは避けた方が良いでしょう。
- ・ 聞きたい講演の時間がかぶると残念なので現状維持がありがたいです。
- ・ セッションを複数に分けて、参加したいセッションを選べた方が良かった。1つの会場のみで口頭発表を聞いていると、ウェブセミナーを聞いている感覚に近くなってしまうと思った。今回の口頭発表の先生方は凄い方ばかりでとても貴重な学びになったが、もっと若手や学生の口頭発表のセッションがあっても良かったと思った。招待講演の数はもう少し減らして、応募者の中から口頭発表者を選んで良いと思った。
- ・ 今後、着席できない方も想定して、複数会場で実施されるのは良いかと思いますが、各会場の場所がもっと近い方がいいと思います。
- ・ 抗体に特化した会でもあり、極力すべてのご講演を拝聴できることを希望します。
- ・ それなりの規模の人数が参加する学会なので、抗体の分析技術などにもフォーカスしていただければありがたいです。
- ・ 会場の配置などとも密接に絡みますが、可能であれば、幾つかのテーマ(分野)に分け、興味の多様性を持たせても良いのではないかと思います。ハイブリッドで PC でのリモート視聴ができれば、比較的多くの講演を効率良く視聴可能だと思います。今回は容量の大きい外部バッテリーを持参しましたが、給電できる環境があると長時間の Zoom 視聴もストレスなくできるかと思います。
- ・ 講演者を絞っているのは、発表内容の充実、まとまった研究内容の発表を聴けるという点で良かったし、聞き逃す演題(時間的重複)がなくストレスを感じませんでした。この良い点を残しつつ、萌芽的研究もしくは若手研究員の育成という観点からもう一列口頭発表があっても良いのかなと思いました。

- ・ 今後、抗体改変技術(例)や分析技術(例)など、抗体創薬の各ステップに特化した細かい内容が増えていくと良いなと思っています。
- ・ 今回の規模であれば現状で良いかと思いました。
- ・ どちらでも、学会の今後の発展に即して考えていけばよいのかと思います。
- ・ 一口に抗体と言っても、様々なアプローチがあることを今回の学会で知りました。テーマごとに専門の方たちが集まることで、より議論が深まるのではないかと考えました。
- ・ 質疑時間を長くしても良いと思います。
- ・ 学会のスコープが抗体に絞られていることから、1 会場で全て聴講できる形が望ましいと思います。
- ・ 今回盛りだくさんでしたが、全ての演題を聴講することができてありがたかったです。
- ・ 各日程、一人ずつ減らしポスターの時間を増やしてほしい。
- ・ 当面は現状で良いと感じました。複数会場は、将来的な課題だと思います。
- ・ 抗体に特化した学会なので、テーマを分けてしまうと、聴講したい発表が重複しそう。
- ・ ポスター発表や参加者同士がコミュニケーションをとれる時間が少なく感じました。その時間を確保するためには、テーマごとに別会場を設定して、ポスターの時間を延ばすなどの対応があってもよいのかなと思いました。
- ・ 前述の通り、CMC に特化した会場があると、製薬企業としては幸甚に存じます。
- ・ 参加者や発表希望者がどのように増えていくかによるかと思いますが、一般の口頭発表も行っていくと学会全体としてもより盛り上がっていくのではないかと感じました。
- ・ 移動が大変になったり、聞きたい講演が重なると聞くことができなくなったりするので、1 か所でじっくり聞きたいです。(ハイブリットで、会場にいながら他会場の講演を聞ければ、それは問題ないかもしれません。)
- ・ 今回の発表も大変勉強になりましたが、30 分程度の短い時間だったので、もっと会場を増やして、一人当たりの講演時間も長くしてほしいと感じました。
- ・ 企業寄りの発表が多く、アカデミックな内容をもっと増やしてほしい
- ・ 専門分野ごとに実施できるのが理想的と思います。
- ・ 全体で一つの講演が聴講できる方が集中かつ話題を共有できたため
- ・ 多すぎても聞ききれないので、個人的には現状でよいと感じました。

[元のグラフに戻る](#)

8) の自由記述欄 (ポスター発表の形式に関して)

- ・ oVoice の使い方がよく分からず、あまり機能していなかったように感じます。ディスカッションも対面の方がやりやすいため対面だけでいいと感じました。
- ・ オンラインのツールに慣れずに、やや戸惑いましたが、慣れれば扱いやすいのではないかと思います。
- ・ ポスターは対面で、ちゃんと議論できるのが良いと思います。ポスターをコピーされてしまう場合もあります。
- ・ オンライン参加ではポスターの見方が良くわからず、見たいポスターが見つけれませんでした。
- ・ オンライン参加だったので、好きな時間に oVice でじっくりポスターを拝見することができて非常に勉強になりました。ただ、その場の雰囲気やディスカッションの状況が分からなかったのも、今後は対面参加したいと思いました。
- ・ オンライン参加の方向けにハイブリッドでもよいと思いますが、ポスターのオンラインは盛り上がりには欠ける気がしました。質問があっても答えていただけないという点もあり、来年は現地参加したいと思いました。

- ・ 今回、ポスター発表時間が少なかったように思います。むしろ、ポスター数を減らすか、口頭発表時間を減らすかして、ポスター閲覧、討論時間を長くすることも良いと思います
- ・ on line での聴講方法が分からなかった。
- ・ 理由は不明ながら ovice からポスターを見ることができなかったのが残念でした。今後はハイブリッドでもポスター確認とディスカッションが問題なくできるシステムにしていだけますと幸いです。
- ・ 今回の形式で、特に不便は感じなかったため。
- ・ ポスターは対面でこそ。
- ・ 質問やディスカッションができるという意味で対面が好ましく思うが、ポスター会場までいけないときにオービスを介してポスターを見れたため便利であった。
- ・ オンラインで参加した弊社社員が、アバターを動かして目的のポスターを見に行くことに苦労したと言っていました。アバターをなくして、目次(タイトル込)から実際のポスターに飛べた方が参加者は閲覧しやすいかもしれません。
- ・ ポスターに関してはオンラインは厳しいのではないかと思います。
- ・ ポスター発表の醍醐味は対面直接の議論ができることだと思います。
- ・ 対面あるいはオンラインいずれかに限定しないと議論は難しいと思いますし、できれば対面の方が発表者と議論しやすいと思います。
- ・ 今回、接続がうまくいかず聴講できませんでしたが、他の学会ではハイブリッドは無く残念に思っていましたので、是非継続をお願いします。
- ・ オンライン上にポスターが掲示されるため、情報漏洩を考えると、ポスター記載情報が最小限となってしまう。
- ・ 対面発表は非常に良かった。web はどのような形になっているか把握できていないため回答は難しいが、ハイブリッドでも良いと思う。
- ・ オンラインのポスターのシステム自体は大変興味深かったが、自分の PC の問題だとは思いますが、全てのポスターが見れたわけではなく、また、閲覧しようにも、全画面表示だと小さくて見えず、拡大すると当然一部だけになるので見にくくて、消化不良で、残念感が残ってしまった。いっそ、パワポの形式の方がよかったか？と思ったが、1件、発表資料のようなパワポが載っていたが、絵しなくて内容が分かりづらく、残念だった。発表者の方でポスター仕様のパワポ(解説を記載する)のような工夫が必要になるようです。とはいえ、生化学会だったか、ポスターのような立ち位置として、音声付きパワポのアップする形式だったけど、それは流石にやりすぎ。聞かないよ、そんな時間ないし。文章で簡単な解説が落とし所かな、と思う。
- ・ 発表者・閲覧者両方の立場ともに、ざっくばらんに意見交換をしたいため、対面のポスターはあった方が良いです。
- ・ ネットの利用をしていないので、このように回答しました。
- ・ oVice を活用する時間がとれなかったので残念です。
- ・ 対面の方がディスカッションしやすかった。ハイブリッドを見る余裕がなかった。
- ・ オンラインではポスターを非常に効率よく閲覧することができ良かった。
- ・ 対面での参加のため、オンラインの状況を知りません。
- ・ 発表者と直にディスカッション出来る場として対面が良いと思います。
- ・ オンラインだと気兼ねなくポスターをじっくり見られるので良かったです。
- ・ 口頭発表以上に対面でやる意味があると思う。
- ・ オンラインのポスターは、ほとんど使用者がいないように感じた。ほぼ PDF を見るだけの機能しか使用しなかったもので、最初からオンラインポスターは PDF を載せるだけで、質問などをチャットでやり取りできるようにする方が良いと思った。
- ・ オンラインでの参加者が少なかったように感じました。

- ・ Web ではポスターを閲覧しづらかったようです。
- ・ ポスターのハイブリッドは正直微妙だと思います。
- ・ 発表情報の管理も含めて、対面でいろいろな背景を持つ方々との意見交換、情報交換を期待しておりますので。
- ・ WEB 参加はしてないのでハイブリッドの意味が解りませんが、対面と WEB 両方で発表内容を確認できるのであれば、ハイブリッドが良いと思います。
- ・ オンライン参加でした。oVice のマニュアルに示されているレイアウトとは異なっており、ポスター発表の場が分からず、見るだけになってしまいました。ポスターに限っては、やはり現地の方が良いと感じました。
- ・ ポスター発表は対面どうしの良さがあるのではないかなと思う。
- ・ 個人的にポスターは対面の方がやり取りの効率が良いかと思いました。
- ・ 運営の負担にならないようであれば現状でよいのかと思います。
- ・ 出張が難しくても発表を聴講できるため、ハイブリッドを希望します。
- ・ ハイブリッド形式で発表時間前や学会終了後にも暫く掲示(3 日程度)して頂けると、事前に質問を準備したり、後日ポスター発表者との討論ができるので、より議論が深まるのではないのでしょうか。
- ・ 対面のポスター会場の活気と比較して、オンラインでの閲覧、議論は少なかったようです。ポスターを Web 掲載するためのリソースに見合う効果があるか検討して、オンラインでのポスター発表の必要性を検討されるとよいと思います。
- ・ oVice の使い方がよくわからず、ポスター発表を聞くことができなかったのですが、ポスターもオンラインで見ることができてよかったです。
- ・ Web で
- ・ 急遽これなくなった場合などにも対応できるため。
- ・ 1 日目の夜などに事前に情報を確認したうえで 2 日目のポスターセッションに臨めることから、ハイブリッドの方がより有意義な時間を過ごせると思います。
- ・ 対面がポスター発表の醍醐味だと思います。
- ・ 発表も関東から九州だと参加しづらいので、ハイブリッドにしていただけると助かる。
- ・ 逆に演者の皆様に、ハイブリッドでよかったかどうかお聞きしたいです。ポスターを見れる時間が限られていて、時間内に 3 つ程度の演者としかお話しできなかったのも、もし、会期時間以外にポスターを閲覧でき、質問を投稿できるのであれば、そのシステムはあった方がよいと思いました。
- ・ ポスター発表の演者が会場におられず、伺いたい質問に対して対応者の方にご回答いただけないことがありました。質問のために PC をオンラインに接続するのは少し手間に感じてしまいます。聴講のためであればハイブリッドでもよいかと存じますが、せめて話者は会場にいらっしゃった方がよいのではと感じました。
- ・ 上記のオンライン・対面の併用をどうするかによると思いますが、併用で実施するのであればハイブリッドでも良いかと思いました。ただし、今回のように現地参加での発表中にオンラインの対応はできないので、実施方法は工夫が必要だと思いました。(オンラインでのディスカッションの時間と現地でのディスカッション時間をわけするなど)
- ・ オンラインだと会話での質問が出来ないため。
- ・ ポスター発表の際に用いられた oVice の使い方が今ひとつ理解できませんでした。
- ・ 遠隔でポスターを閲覧できるのは良いが、アプリの操作方法が難しかった。
- ・ 対面でのポスター発表はさまざまな方と直接お話ができて良い経験になりました。
- ・ 会場が狭かった
- ・ 対面だと気軽にいろいろと聞けて良いと思います。
- ・ Edge でポスターが聞けなかったのが非常に残念。

9) の自由記述欄（ポスター発表の時間に関して）

- ・ 三つほどしか聞くことができず、見たいものを見切れなかった
- ・ 会場スペースが狭かったため、もう少しスペースに余裕があるとよかった。
- ・ ポスター発表者として参加させていただいた視点から考えると、現在の 40 分から 1 時間程度になると嬉しいなと感じました。また、午後の部のメイン A 参加者の数を見てみると、2 演題目時に参加者がようやく午前と同様に戻っていたように感じました。ポスター発表会場と講演会場との慣れない会場間移動の時間も考慮にいただけると嬉しいのではないかと感じました。
- ・ オンラインでのポスター発表は少し寂しい印象があった。
- ・ 参加者間交流の貴重な機会。
- ・ もっといろいろなポスター発表者とディスカッションしたかった気もしますが、これ以上長くなると冗長になってしまう可能性もありますし、適切な時間だったと思います。
- ・ 4~5 人しか議論ができませんでした。
- ・ 口頭発表の間に、全部見られませんでした。
- ・ テキストで質問を書き込みましたが、返信はいただけなかったため、もう少し長いほうが良いのかもと思いました。
- ・ 8) で回答済
- ・ 十分なポスターの議論時間が取れないと感じました。
- ・ 会場を広く、参加者を増やしたうえで時間が長くなるとよい。
- ・ 少し短ったかなと感じました。
- ・ 質問できる時間が短いと感じたため。
- ・ 人気のポスターは人だかりで聞けなかった。
- ・ かなりタイトでとあると感じました。口頭発表、ランチョンとのバランスもあると思いますが、時間なども考慮いただければ幸いです。
- ・ 今回ポスターセッションが大盛況で何よりでしたが、結果として、時間的にもスペース的にも少し密であったような気がします。
- ・ 1 時間程度が妥当かと思います。
- ・ スケジュールの都合で難しいようにも思いましたが、1 時間くらいは討論時間を設けても良かったように思いました。ポスターをゆっくり見る時間もほとんどありませんでしたし。
- ・ ポスター発表の時間を延長するか、一般演題として口頭発表の時間が欲しい。
- ・ ポスター発表の時間としてはちょうどよかったが、ポスターをゆっくり見れる時間があればよかった。
- ・ もっといろいろな方と話をしたかった。時間が短かった。
- ・ この回答は、オンラインポスターのシステムに慣れてないことが原因なので、適切な回答ではないかも知れない。
- ・ 今回、講演が充実していて席を外せなかったため。ポスターでの質疑応答がほとんどできませんでした。
- ・ 発表時間というよりは口頭発表を優先するとポスターを見る時間が限定されました。
- ・ oVice を初めて使用したため、使い方が難しかったです。
- ・ 今回のポスター会場はやや狭いと感じた。
- ・ 興味深いポスターが多数あり、まわりきれませんでした。
- ・ 気になるポスターを回りきることができなかった。
- ・ 参加者が多かったこともあり 1 時間くらいあっても良かったと思う。

- ・ Oral を中心に参加すると、ポスターへの参加時間はかなり限られていました。
- ・ 今回の学会に限った事ではありませんが短すぎると感じます。コアタイムを 1 日に複数時間帯(午前と午後など)に分けることも有効ではないでしょうか。
- ・ じっくり見られるので、もう少し時間が欲しかったです。
- ・ 会場が混雑していたこともあり、聞きたいポスター発表をほとんど聞けなかった。また、会場が離れていたため、休憩時間にポスターを眺めることもほとんどできなかった。発表時間は最低でも 1 時間はとってほしい。
- ・ 90 近い演題に対して、発表者は 40 分しか見る時間が用意されていない点は、少し残念に思った。また、発表時間も 40 分では同様に見学者が回りきる前に時間切れになってしまい、多くの人と議論する時間が取れなかった。せっかく多くの参加者が対面で議論できる貴重な時間なので、ポスター発表の時間はもっと長く確保して欲しいと思った。
- ・ 時間が短く人が集中すぎて話があまり聞けなかった。
- ・ ランチタイム／コーヒースタンドと組み合わせる形で、時間を延長してはいかがでしょうか。ポスター発表での QA が活性化すると、時間枠をオーバーしてしまい、オーラル発表の開始時間に間に合わないことがありましたので。
- ・ もう少し議論の時間があれば、と感じました。
- ・ 一時間くらいはあっていいと思います。
- ・ 1 時間に満たない発表時間では、いろいろな方々との交流には不十分だと思いました。
- ・ もう少し発表者と話をする時間が長くて良いと思います。また、他学会に比べると狭いわけではありませんが、もう少しスペースが欲しいです。
- ・ もう少し長くて良いと感じました。
- ・ いろいろなポスター発表を見たいが、自分も発表しているのでその時間が取れなかった。
- ・ 発表の時間が短く、質問し切れない箇所もありました。また、今回は 3 部屋でしたが、4 部屋くらいに分割しても良いように感じました。また、発表者の方はそれとわかるような目印(胸ポケットから何か下げるなど)があっても良いかと思いました。
- ・ オンライン聴講だったのですが、口頭発表・ランチョンを聴講するために、ポスター発表の時間を昼食に当てざるを得なかったため、ポスター口頭発表を聞くことができませんでした。設定が大変かと思いますが、録音などがあるとありがたいと思いました。
- ・ 今回の参加者数を考えると 1 時間程度(途中で発表者も他のポスターを聞きに行ける時間も確保)あった方が良いでしょう。
- ・ やや短い感じはありましたので、1 時間くらいあってもよいと思いました。
- ・ 第一回ということもあるかもしれないが、ポスター数が多かったため、全て見るのが難しかった。もう少しポスターセッションの時間を設けていただけると助かります。
- ・ 対面会場では、1 ポスターあたり 5,6 人が待つ様な状態でかなり混雑していた印象だった。聞きたい演題が多かったため、もう少し時間を確保して頂きたいと思った。
- ・ 二つほどしか質問して回れなかったから。
- ・ 会場の広さ(今回は狭いと感じました)との関係にもなりますが、今回は少し短く感じました。
- ・ 上述の通り、聞きたい演題の半分以上しか議論できませんでした。(こうなると、メーカーさんのポスターは事後で資料をもらえる可能性もあるので、あえて聞きにいかなくなっていました。)
- ・ ポスター発表の前後で講演と時間をあけていただけますと幸いです。
- ・ 丁度良かったです
- ・ ポスター数に対してセッション割り当て時間が短く、多くの方との十分な議論は難しかった。
- ・ 40 分は短かったかなと思います。もっと色々なポスターを見て回りたいかったです。
- ・ 時間は倍くらいあっても良かった

- ・ かなり盛況でしたので、一部のポスターにしか質問が出来ませんでした。
- ・ もう少し会場にゆとりがあれば、余裕をもってポスターを見ることが出来たと思う
- ・ 議論に参加する前に終わってしまった。場所も広い方が良い。

[元のグラフに戻る](#)

10) の自由記述欄（次回の本学会の学術大会も参加したい？）

- ・ 抗体に特化した学会のため、短期間で効率的に知識やディスカッションを行うことができると感じたから。
- ・ ぜひまた参加させていただきたいです。次回以降での若手の会の設立に興味があります！または若手発表（口頭を含めた）もあると、学生としては嬉しいです。
- ・ シンポジウム形式の場合は、今回と異なる話題がどの程度あるかによると思います。似たような話題が多い場合は、例えば隔年での参加を選択するかもしれません。
- ・ 次回も参加する予定です！
- ・ 来年は現地参加で発表も行いたいと思います。
- ・ 抗体テーマに注力した学術研究発表は非常に有意義であったと思います
- ・ 大変楽しい時間でした。
- ・ 抗体に特化した学会が日本だと他にないことから、ぜひ来年も参加したいと思います。次はオンサイトで参加したいと思っているのですが、平日の方が参加が容易なため、今回は平日での開催を希望いたします。
- ・ 常に新しい情報を得たいため。
- ・ 自分の専門分野である抗体に特化した話の聞ける学会は日本では他にないため
- ・ 抗体産生技術と抗体の性状評価が中心であったため、抗体を使ったツールの開発やその応用の研究を行っている研究室としては、得られる情報が少なかったため。
- ・ 貴重な情報を得ることができたと思っています。
- ・ 分析技術の底上げに貢献したいと思います。
- ・ 今回は第一回ということで、これまでの研究総括のような形の発表が多かったと感じているし、これまでいろいろなセミナーに参加しており、重複する内容も多かった。ただ、それでもモチベーションは上がったし、是非次回は社員を誘って参加したい。
- ・ 個人的な事情で私の参加は実現しないので、5は選べないのです。
- ・ 得るものが非常に多かったため。
- ・ 発表内容を確認しながら参加を決めたいと思います
- ・ アカデミアの発表と企業の発表をどう共存されるか、が悩ましい課題だと思います。圧倒的なリソースを活用した企業発表と修士学生の発表では、だいぶ異なります。
- ・ 日本の抗体関連の研究者が集うこの学会は、非常に多くのことを学べたので、その点でまた参加したいと思った。ただ、発表者として参加したいとは、あまり思わない。
- ・ 今回の学会参加者の大多数の参加者の御興味はやはり医療シーンでの抗体の利活用にある、ということが知れたことは一つの収穫でした。私個人としましては、興味のベクトルの向きが多くの参加者の方々とは異なり、直接人体に使用しない目的での、公衆衛生に資するような抗体の材料利用（検査試薬含む）に興味があり、同様の興味を持つ企業や研究者を探して、彼方此方の学会に参加しております。残念ながら、まだドンピシャの学会・集会には巡り会えておりません。今後の研究の進展に依っては来年度も参加するかも知れません。

- ・ 抗体創薬に携わってまだ長くないため、基礎から応用まで様々な情報を収集できるような学術大会になることを願っております。
- ・ 良い機会でした。
- ・ 立地的に遠いので、オンラインを検討すると思います。現地に行く人は社内で絞ることになるかと思います。
- ・ 抗体に特化して交流ができる貴重な会であると感じました。
- ・ 将来のための情報収集と事業方針との兼ね合いで判断したいと思います。
- ・ 可能であれば次回も参加したい
- ・ 日本の抗体研究をされている先生方のお話を聞けるよい機会だと思います。是非続けてほしいです。
- ・ 抗体に特化していて大変有意義だったから。
- ・ リアル参加し、有益情報を得たいと思います。
- ・ 各学会で散らばっていた発表が一度に聴講できたように感じた。
- ・ 普段薬学関連の学会だと、抗体関連で最前線で活躍している先生方のご発表を聞ける機会はあまりなかったもので、抗体に特化した本学会は非常に有益な会でした。
- ・ 参加者の専門性が高いので、ぜひ活用したいと考えます。
- ・ テーマが合えば引き続き参加したく存じます。個人的には大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・ 活気もあって、大変勉強になりました。また、来年も参加させていただきたく存じます。
- ・ 抗体だけの学会というのはとても貴重で良い刺激を受けた 発表者、聴講者ともに抗体の深い内容までコンセンサスが取れており、質疑が充実していたと感じた。
- ・ 抗体分野に特化した学会であり、素晴らしい情報共有の場と感じました。

[元のグラフに戻る](#)

1 1) の自由記述欄（次回以降の学術大会の開催地）

- ・ 東京
- ・ 今回、参加者の数に対して会場が狭いように感じました。そのためより大きなスペースを取れる場所で行っていただきたいです。
- ・ 米国の抗体のメッカがサンディエゴならば、日本の抗体のメッカは鹿児島である！という認識を世界にアピールするきっかけ作りになったら面白いなと妄想していました。
- ・ 鹿児島はとても良かったです。毎回だと伊東先生の御負担が大きすぎだと思います。
- ・ 関西、関東、中部でも開催してほしい
- ・ (全国旅行支援もあり)ホテルもほぼ埋まって直前だと宿の確保も難しくなったため、数年後にもっと学会が大きくなると開催地を選ばないと収容できなくなる可能性もあると感じました。
- ・ しばらく鹿児島でよいと思いますが、将来的には全国各地で行った方がコミュニティが広がると期待されるため、3 番目を選択しました。
- ・ 学会運営のノウハウを他の方(できれば若い方)も共有できる体制が望ましいように思います
- ・ 観光したいと思っています。スケジュール的に 3 日間で余裕があるようにしていただけると嬉しいです。
- ・ 変化は必要だと思います。また、一般参加者に偏りが生じる(西日本>東日本)ように思います。
- ・ 毎年鹿児島ですと、伊東先生へのご負担が大きいのではないかと感じます。
- ・ 大都市と交互でも良いと思いますが、運営上、次回も鹿児島市内のホテルなどで行い、その後、交互に鹿児島と大都市というので良いかと思っています

- ・ 鹿児島は良い環境であると感じました。アクセスが大変良かったです。
- ・ 東京などアクセスが良いところでも開催していただけるとありがたいです。
- ・ 居住地から離れているからこそできる交流がある一方、遠方の為に参加しづらいケースもあるため、交互開催の方が良いと感じる。
- ・ 次回からすぐでなくてもいいと思うのですが、毎回ホストが一緒だと大変かと思われますので、各先生が持ち回りでホストをしていただき、それに応じて開催地が変わる形式の方が伊東先生に負担が偏らなくて良いのではないかと思います。
- ・ 鹿児島までアクセスが大変のため関西または関東での開催があるとありがたい
- ・ 特に開催地にこだわりはありません。
- ・ いずれの地でありましても、貴重なご講演を拝聴できますので問題ございません。
- ・ 自身が札幌から参加しており、移動が少し大変だったため。
- ・ 鹿児島から順に全国 1 週
- ・ 鹿児島を抗体研究の地として、根付すのもありだと思ったので。
- ・ 北海道
- ・ 多くの方が学会にオンサイト参加されたこともあり、予約制ではない空港バスや道路状況の点において、空港までの所要時間が読めない部分もあり、飛行機に間に合うか少し不安でした。最終日の会の終了時刻は気持ちだけ早めに設定された方が安心して最後まで居れるのでよいかと感じました。
- ・ 個人的に鹿児島は好きなので毎年鹿児島でも嬉しいですが、キャンパスで開催するにしてももう少し大きめのホール？（A と B に分ける必要がないので）があれば良いかと思いました。
- ・ 普段行くことが少ない都市などで開催があると楽しみです。
- ・ 学会としての運営基盤が安定するまでは、伊東先生の自由が利く鹿児島をベースにして、できれば隔年で他の場所で開催というのが良いと思います。
- ・ 第一回のノウハウを継承して、数年後に別の開催地に移るのが良いかと思いました。今回、事務局スタッフの方々の強力なサポートが際立っていたと思います。伊東研究室だからこそその成功だったと思います。
- ・ web 形式で参加可能でしたら、場所の指定はありません。開催のノウハウがあるかと思いまして鹿児島を選択しました。
- ・ 関東での開催がよい。
- ・ 空港からのアクセスが良いところがみなさん参加しやすいかなと思いました。
- ・ 今回は宿が近くに取れない人が多かったようです。個人的には開催地はどこでも良い。
- ・ 近いと良いな、とは思うけど、伊東先生がなさるなら、鹿児島が良いんじゃないでしょうか。
- ・ コンベンションホールを利用するのが良いかと思います。大学内の場合、大きな講義室が離れてしまっているため、人の行き来がかなり限られてしまいます。
- ・ しばらく鹿児島でよいですが、北海道からはかなり遠いので、近いところで開催されればありがたいです。
- ・ 今後の学会の発展を期待すると共に、今回のウェルメイドな感じも残っているといいと賛沢な要望かもしれないですが思いました。
- ・ 鹿児島に行ってみたいため。
- ・ 福岡、大阪、名古屋、横浜、東京、仙台等の中核都市。(参加人数が少ないうちは鹿児島でも良いと思う)
- ・ 鹿児島で問題ないと思いますが、会場に関してはもう少し使いやすい場所の方がよいかと感じました。
- ・ 規模も大きくないので、せっくなので地方がよいですね。
- ・ 今後数回が学会の方向性を左右するように感じます。伊東先生を始め事務局の方は大変だと思いますが、開催地をしばらく固定することも 1 案のように思います。
- ・ 関東方面に来ていただけると非常に参加しやすいです

- ・ 鹿児島でも良いと思いますが、関東、関西など、人の集まりやすい地区でも開催した方が、より多くの人が集まり、活性化されるのではないかと思います。
- ・ 都市部の会議場の方が適しているかと存じます。
- ・ 開催地については特段意見はございません。開催地が異なることで新鮮さは生まれるかもしれませんが、一方で PepTalk や Antibody Engineering がサンディエゴで行われているように、開催地を固定することで「日本版 Antibody Engineering と言えばここ」のような印象も持たせられるかもしれません。
- ・ 東京や大阪など、全国から移動のしやすい場所がよいと思います。学生の参加費は安くてよいですが、鹿児島ですと、交通費が莫大になり、研究費の負担が多いです。来年は人数を絞って参加させます。
- ・ 鹿児島は素敵です。
- ・ ホスト側の御負担は大きいのですが、暫くは鹿児島開催で良いのではないかと思います。小 5 の時の家族旅行(自家用車で移動)以来の訪問で、Suica が使えませんでしたので、市電に乗ることさえ、少し躊躇しました。暫くの間、鹿児島での開催に固定されるのであれば、今回の経験も来年以降に役立ち、鹿児島のことをより知る機会にもなると思います。
- ・ 特別な希望はありませんが、継続して頂きたい。その目的で鹿児島がベストであれば、しばらく鹿児島で良いと思います。ただ学会運営がレールに乗った後は、他の開催地も検討いただければ参加可能な方も増えるのではないのでしょうか。
- ・ しばらく鹿児島で良いと思う一方、将来的には異なる場所で開催されるほど学会の発展に貢献したいです。
- ・ 特に開催地に関しては希望ないです。
- ・ 今後の参加者の皆さんの分布しだいだと思います。
- ・ 運営の中核を担われる先生方に過剰な負担がかからない方法であればいずれの方法でもよろしいかと思います。(通常は持ち回りの方が不公平がないかと思いますので)
- ・ 宿泊などの関係から、平日開催も希望いたします。
- ・ 開催地を変えることで、発表メンバー／内容にも動きが生じ、テーマのバリエーションも良い方に動いていくのではないかと感じました。
- ・ 運営されている先生方の負担が少なくなるようにして頂けると良いと思います。
- ・ 鹿児島が気に入ったため、鹿児島での学会は少ないので、希少価値がある。
- ・ 各県や地方を巡回する等すると新鮮味があり良いかもしれません。
- ・ 伊東先生の負担を考えると、他の先生方の持ち回りでもいいかなと思います。
- ・ 弊社研究所から鹿児島までは少し距離があるため、新幹線を使って 2-3 時間程度で移動できる範囲で開催していただけるとより出席しやすいです。
- ・ 参加するか否かは開催地には依存しないため、回答を保留させていただきました。
- ・ 開催に向けて開催地のアクセスや会場の視察があると思うので、会長を引き受けられ方の判断が優先すると思います。
- ・ 毎回異なる開催地のほうが参加者が増えると思う。
- ・ 伊東先生へ過度のご負担にならない範囲で鹿児島で開催してほしい。ただ、企業の方が全日程参加した人が少ないように思えた。
- ・ 交互でも毎回開催地が異なるのもよいのですが、ずっと鹿児島、というのではない方がよいかなと思いました。2 日目、その日中に帰らねばならない参加者が、鹿児島からだ最後まで出られないケースもあったようで、少し残念でした。
- ・ 主宰される先生方にお任せいたします。
- ・ 鹿児島をもう少し堪能したい気持ちもありますが、いろいろな土地に行けるのが、オンサイトの楽しみでもあると思います。

- ・ 東北、北陸地域など
- ・ 本州のどこかで行って欲しかったです。
- ・ やはり鹿児島はアクセスが難しい
- ・ 当方からはかなり遠方となりましたので、可能であれば別の場所も希望します。
- ・ 次は関東だとうれしいです
- ・ 鹿児島を満喫したいと思います。ありがとうございます。

[元のグラフに戻る](#)

1 2) その他ご意見がありましたら、ご自由に記述ください。

- ・ 伊東先生またスタッフの皆様たいへんお疲れ様でした。素晴らしい会です。
- ・ 平日開催の方が負担が少なく、参加者も増えると思います
- ・ オンサイトの参加者にも Zoom URL を周知して頂きたかった。A 会場と B 会場は近い方が便利であった。企業展示にあまり人が流れていなかったように見られたので、展示場所の変更か、人の流れができるようにした方が、展示企業の方にとってよいかと思った。
- ・ 伊東先生、運営委員の先生方のご尽力により、ゼロから会が発足しこのような素晴らしい会が出来たのだと感じました。企業もアカデミアも同じ立場で「抗体」をキーワードに丁々発止な議論が行われた学会に参加することができ本当に光栄でした。
- ・ ご尽力いただきありがとうございました。
- ・ 素晴らしい会だったと思います。準備された先生方、ありがとうございます。
- ・ 非常に良かったと思います。おつかれさまでした。
- ・ プログラム集が、PW 無しに開く形になっているように感じたのですが、気のせいでしょうか？ご案内頂いた直後は PW を求められましたが、その後は別の端末からアクセスしても PW を求められませんでした。何はともあれ、充実した時間を過ごすことが出来たこと、御礼申し上げます。
- ・ 以前から日本に抗体学会がないことを残念に思っていたので、今回の学会の設立と学術集会に対して大変期待しておりましたが、実際に大変有意義な時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。
- ・ また素晴らしい学会をよろしくお願い致します！
- ・ 会長、委員、スタッフの皆さま、大変ありがとうございました。
- ・ 企業の方の講演が聞けて、他の学術学会とは違った価値を見いだせた。引き続き、企業の方の講演も多く取り入れて欲しいです。
- ・ 今回は大変すばらしい学会となり、感謝申し上げます。そのほか、コーヒブレイクでお菓子の提供は良かったです。大規模ではなく 200-400 名程度の学会であれば、できれば、展示会場でコーヒブレイクとし、懇親と展示ブース議論ができれば尚良いです。夕刻には、希望者を事前登録で、懇親会（レストランや遊覧船などでの会食、会費 1 万円程度）をするのも良いです。運営予算に難があるようでしたら、企業にスポンサーを頼み、金銀銅クラス分けにより、特典（学術発表やポスター発表を含む）付きで、30-100 万円程度の費用を負担してもらうのも一つの手です。
- ・ 学会設立に大変感謝します。研究者にて良い技術が開発されても、大きい学会での発表では他の発表に埋もれてしまうことがあったかと思いますが、このように分野を絞ることで集中して講演を拝聴できました。
- ・ 学術大会を平日開催にさせていただくことと、オンラインでのポスター発表への参加を問題なくできるようにしていただくことを希望いたします。

- ・ 祝賀会のような、懇親会は来年度もあればぜひ参加したい。立食形式だとなお良いかもしれない。
- ・ 多くの講演があり、学びの機会となりました。ありがとうございました。
- ・ 大変勉強になりました。誠にありがとうございます。
- ・ 学会スタッフは伊東先生の研究室の学生さんかと思いますが、皆さんのお仕事ぶりが素晴らしかったです。
- ・ 企業展示出展マニュアルに記載のなかった料金請求を、会期 2 日目に運営事務局様から受けた事が残念でした。次回開催の際、出展マニュアルに追記頂けますと幸いです。
- ・ scFv や何とかボディなどの多様な抗体様分子まで対象とした広義の抗体に関する演題がもっと増えると良いのに、と思いました。とはいえ、大盛況でしたので、このままの勢いで頑張ってもらえると嬉しく思います。お疲れ様でした。
- ・ ポスターの PDF が、見れると良い。他の学会ではあったので。
- ・ 第一回大会本当におめでとうございます。ありがとうございました。
- ・ 今後とも、よろしくおねがいいたします。
- ・ 抗体に関する議論をする場として、本学会を楽しませていただきました。ご尽力いただきまして誠にありがとうございました。
- ・ サテライト会場でもスクリーンにマックスサイズで zoom 画面を調整いただき、つねに発表者の顔が見える状態に設定いただければより臨場感があり聴きやすいと思いました。
- ・ 会期がすべて土日だと企業側からすると労務管理の点で参加しにくいことがあります。金土、日月など休みと平日を絡めた日程ではいかがでしょうか？
- ・ ランチョンセミナーの運営も、スタッフの皆様のチーム力で、すごく順調に進められたと思います。すべてのスタッフの皆さまに感謝致します。λ 企業展示については、休憩時間を利用してのブース紹介のプレゼンテーションなどがあればいいと思いました。λ クロークの担当者含め、スタッフ皆さんが集中して対応されており感動致しました。
- ・ 全体を通して非常に有意義な学術大会であったと思います。大会運営にご尽力くださった皆さまに感謝申し上げます。
- ・ 抗体研究に興味がある者にとってなくてはならない学会だと感じた。
- ・ 今回は第一回大会ということで伊東先生をはじめ多くのスタッフの方が準備をしてくださったと推察します。本当に感謝しております。会場の熱気は、配信でも十分感じ取ることができました。第 2 回を楽しみしております。宜しくお願い致します。
- ・ 非常に勉強になる学会内容でして、運営に関わっていただきました皆様に御礼申し上げます。また、次回の開催も楽しみにしております。
- ・ 総括してとても良い学会であった。同分野の方と多く意見交換ができる機会がなかなか無い中で、本学会は抗体研究者にとってのそういう場になると思う。今後も続けて参加したいと思う。
- ・ 今年こんなに充実してしまうと、無理に来年の実施でなくても良いのでは？という気もします。
- ・ 素晴らしい学術大会をありがとうございました。
- ・ 今回は医薬品としての抗体に関する発表に偏っていたと思いますが、もっと多岐にわたって、抗体(免疫反応含む)の基礎的な研究や医薬品以外の利用に関する話なども聞けたらより面白いと思います。
- ・ もっと製薬会社とアカデミア間でディスカッションされる機会、場となってほしいです。講演でもあったような製薬会社は面白いといいながら共同研究に進まない、一歩引いた感じでは良くないなと思います。
- ・ 学会運営お疲れ様でした。非常に勉強になる学会でした。ありがとうございます。
- ・ どの講演も非常に興味深い内容でした。ご開催して頂きありがとうございました。
- ・ 予想を超える参加数、限られた施設やスペースの中、臨機応変に対応されているのを感じ、運営としてすばらしかったと思います。抗体関係の様々な会議・学会がある中、どのような位置づけにしていけば非常に悩ましいとこ

ろかと思いますが、特色のあるアカデミア研究と企業の研究の住み分けがあり、時として混ざり合う、という感じで、他会議とは異なる独自の雰囲気になればと思います。

- ・ 伊東先生を始めとする役員の先生方、会場でサポートされた研究室の方に御礼申し上げます。抗体をテーマとする初めての学会であり参加された方々の熱意・意気込みが感じられました。この気持ちが維持、さらには発展されるように協賛企業として出来る限りサポートさせていただきたく存じます。
- ・ 来年も参加させて頂ければと思います。
- ・ ポスター賞の審査は、次回以降は大変かもしれないが審査員が行った方が良かったと思った。アンケートではどうしても人気投票になるので、研究者人口の多い分野に票が集中すると思った。発表者としては、やっぱり平等に審査された方がモヤモヤすることが無いなと思った。
- ・ 企業展示と休憩場所の配置など、協賛・展示企業への配慮も深く感じられました。運営委員をはじめ、スタッフの皆様、本当にお疲れ様でした。来年もぜひ(鹿児島での)学会開催を期待しています。
- ・ 登録メールアドレスでのメール受発信ができないトラブルもありまして、メールアドレスの変更への御対応などいろいろとお世話になりました。
- ・ ポスター発表の投票案内に気づくのが遅く投票できなかった。現地案内もあるとよいかと思いました。
- ・ ご苦労様でした。今後ともよろしくお願いします。
- ・ 企業展示の内容も充実しており、収穫がありました。企業展示を回れるような時間配分もあると有難かったです。
- ・ 抗体に関する様々なご発表に接することができ、とても刺激を受けた充実した2日間でした。ありがとうございました。
- ・ 運営代理店との連携をぜひお願いしたいと思います(gmailの使用(迷惑メールに引っ掛かる)、先生のお名前を間違えている、後追いで具体的な費用情報が出てくる、など)
- ・ 特になし
- ・ 企業展示会場への人の流れが少なかったように思いますので、ポスター会場の近くにすると、目につきやすいように配置して頂けると助かります。
- ・ 伊藤先生、伊藤研スタッフのご負担を軽減することも考えたほうがよい。
- ・ 秋は学会が多いため、今回のように、土日の開催が参加しやすいです。
- ・ 抗体学会に沿うか分かりませんが、もう少しバイオアナリシス(生体試料中薬物濃度分析)に関するテーマを入れてほしいと思いました。
- ・ この度は、大変勉強をさせていただきました。講師の皆さま、大会関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。
- ・ 第一回日本抗体学会参加させていただき、ありがとうございました。事務局の方々にも大変お世話になりました。是非続けていただければと思います。
- ・ 抗体学会設立おめでとうございます。大変興味深い内容が多く楽しかったです。
- ・ 日本抗体学会の創立、また第1回学術大会の開催、おめでとうございます。現地で参加させていただき、大変有意義な時間を過ごすことができました。今後ますますの発展を祈念しております。
- ・ 大変充実した学会を開催いただき誠にありがとうございました。充実した内容であったが故に、今回については2日間では過密な感じが致しました。
- ・ ランチョンセミナーに関して ①3種類のお弁当 → 受付が混雑するので単一で構わないと感じました。②引き換えチケット→チケットを持たない方の扱いに苦労しました。(チケットを持っても入られない方が数名おられるので、弁当が余っても仕方ない) 用意した弁当の半分のチケットを配布し、残りは開始前の先着順とする運営はどうでしょう。
- ・ 学会の運営は素晴らしかったが、鹿児島市内の交通の便があまりよくなかった。また、大学内で開催したので週末開催だったと思うが、平日開催の方がうれしい。抗体の仕事は、ビジネスにもつながる可能性があるので、企業ブースや企業と交流できるスペースなどがあると良いのかもしれない。

- ・ ovice の使い方が慣れておらず説明書 pdf もあったが戸惑ってしまったので、事前練習みたいなものがあるとより良かったかなと感じました。
- ・ 業界内の交流のため、毎回 1 回は立食交流会などを企画していただけますと幸いです。
- ・ 第一回大会のご開催を心よりお祝い申し上げます。運営してくださった皆様に厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。
- ・ 想像以上に参加者が多く、活気のあるとても良い学会だったと思います。学会を運営してくださった皆様に厚く感謝申しあげます。ありがとうございました。
- ・ 今回参加して様々な先生方のご講演を拝聴して、抗体に特化した学会は非常に貴重なものであると感じましたので、今後もできる限り参加したいと思っております。
- ・ 今回は大変お世話になり、誠にありがとうございました。
- ・ 第1回目の開催、大変お疲れ様でした。多くの研究者が交流し、発展していくことを期待しています。
- ・ 大変お世話になりました。
- ・ 開催時期を多くの人に参加する分子生物学会や免疫学会とずらしてほしい
- ・ 大変有益な大会でした。ありがとうございました。
- ・ 素晴らしい学会でした。関係者の皆様、誠にありがとうございました。次年度以降はさらに参加が増えるかと思いますので、より運営が大変になるかもしれませんが、楽しみにしております。

[元のグラフに戻る](#)